

整理番号	T322	製品名	TRUSCOインターナル砥石
作成改訂日	2026. 1. 26	会社名	トラスコ中山株式会社

安全データシート(SDS)

1 化学品及び会社情報

製品の名称 : TRUSCOインターナル砥石
 製品の品番 : TRI-3819,4816,4819,6516,6519,7516,7519
 整理番号 : T322
 推奨用途、特長 : 主に金属、非金属の研削及び研磨に使用する。
 会社名 : トラスコ中山株式会社
 住所 : 〒105-0004東京都港区新橋4丁目28番1号
 担当部門 : PB品質保証課
 電話 : 0120-509-849
 FAX : 0120-509-839

2 危険有害性の要約

GHS分類

【酸化アルミニウム】

特定標的臓器毒性(単回暴露) : 区分3(気道刺激性)
 特定標的臓器毒性(反復暴露) : 区分1(吸入・肺)

【カーボンブラック】

発がん性 : 区分2
 特定標的臓器毒性(反復暴露) : 区分1(呼吸器)

記載のないものは、区分に該当しない又は分類できない。

GHSラベル要素

シンボル

: 【感嘆符】
 : 【健康有害性】

絵表示



注意喚起語 : 危険

危険有害性情報

: 呼吸器への刺激のおそれ(気道刺激性)
 : 長期にわたる、又は反復暴露による臓器の障害(吸入:肺・呼吸器)
 : 発がんのおそれの疑い

注意書き

【安全対策】

: すべての安全注意(SDS)を読み理解するまで取り扱わないこと。
 : 換気の良い場所でのみ使用し、粉塵等の吸入を避けること。又飲み込まないこと。
 : 適切な保護具を着用すること。
 : 取り扱い後はよく手を洗うこと。

【救急処置】

- ：吸入した場合は、新鮮な空気のある場所に移し呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- ：眼に入った場合は、清浄な流水で洗眼をする。この時強く押さえたり、擦ったりしないこと。
洗眼後も異常を感じたら、直ちに医師の診断、手当てを受けること。
- ：皮膚刺激が生じた場合は、医師の診断、手当てを受けること。
- ：飲み込んだ場合は、水を飲ませ嘔吐させる。

【保管】

- ：直射日光を避け、換気の良い冷暗所に保管すること。

【廃棄】

- ：内容物や容器は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄処理業者に廃棄を委託すること。

3組成及び成分情報

単一製品・混合物の区分 ： 混合物

成分及び含有量(wt%)

物質名	化学式又は構造式	CASNo.	含有量(wt%)
酸化アルミニウム	Al_2O_3	1344-28-1	75%以上
ガラス長繊維	SiO_2	65997-17-3	5%
フェノール樹脂硬化物	—	—	15%以上
カーボンブラック	C	1333-86-4	1%未満

※備考

カーボンブラックは0.1%以上が文書交付(安衛法)の対象。
本製品には化管法のSDS対象物質(第一・第二種指定化学物質)は含有していません。
本製品には使用禁止物質、製造許可対象物質、ROHS指令・REACH対象物質等の
環境負荷物質は使用含有していません。

4応急措置

吸入した場合

- ：粉塵を吸入したら、新鮮な空気のある場所に移し、水で十分にうがい(洗浄)をし、呼吸しやすい姿勢で休息させること。必要であれば医師の診断、手当てを受ける。

皮膚に付着した場合

- ：むやみに擦らず、作業終了後石鹸水等で洗い流す。必要ならば医師の診断、手当てを受ける。

目に入った場合

- ：粉塵が眼に入ったら、直ちに清浄な流水で洗眼をする。この時強く押さえたり、擦ったりしないこと

飲み込んだ場合

- ：多量の水を飲ませ嘔吐させる。必要ならば医師の診断、手当てを受ける。

5火災時の措置

消火剤

- ：不燃性であるため燃焼はしない。周辺火災に応じ適切な消火剤を使用する。

特有の消火方法

- ：特に注意事項は無いが、風上からの消火が望ましい。

消火を行う者の保護

- ：特になし。適切な保護具の着用が望ましい。

6漏出時の措置

人体に対する注意事項

- ：粉塵等が眼に入った場合は、清浄な水で注意深く洗眼する。

環境に対する注意事項

- ：土壌、下水、河川等に排出しないこと。

除去方法

- ：粉塵を収集する場合は保護具（保護眼鏡、防塵マスク等）を着用し、吸引設備等で除去する。
除去後は手を洗うこと。

7 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

- ：使用前にはこの製品の『安全の手引き』と機械及びその他関連する設備等の全ての注意を読み、理解するまで取り扱わないこと。
- ：取り扱い場所には局所排気装置を設置することが望ましい。

注意事項

- ：使用時には、発生する粉塵を吸いこんだり、目、皮膚に触れないように適切な保護具を着用すること。

安全取扱い注意事項

- ：割れものであるため、衝撃を与えないこと。

保管

適切な保管条件

- ：直射日光を避け、なるべく涼しい場所に保管すること。
- ：高温多湿を避ける。
- ：荷崩れがないように保管すること。

8 暴露防止及び保護措置

設備対策

- ：局所集塵装置、局所排気装置、洗眼器、水道栓等

管理濃度

- ：設定されていない。

保護具

呼吸器用の保護具

- ：呼吸用保護具（防塵マスク）を着用する。

手の保護具

- ：手袋

目の保護具

- ：保護眼鏡（安全眼鏡）

皮膚及び身体の保護具

- ：研磨作業中に発生する粉塵と皮膚との接触が避けられるもの。

9 物理的及び化学的性質

形状	：	固体
色	：	黒又は黒茶色
臭い	：	樹脂臭
pH	：	—
比重（相対密度）	：	1.5～3.0
自然発火温度	：	データなし

10 安定性及び反応性

反応性

- ：水、酸にほとんど不溶、 β -ナフトールに溶解、フッ化水素酸、アルカリと反応

避けるべき条件

- ：高温、高湿、衝撃

危険有害な分解生成物

: なし

11 有害性情報	化学物質としての情報
急性毒性 (経口)	: ラットLD50>5000mg/kg 【酸化アルミニウム】
皮膚腐食性・刺激性	: データなし
眼に対する重篤な損傷・刺激性	: データなし
呼吸器感作性又は皮膚感作性	
呼吸器感作性	: データなし
皮膚感作性	: データなし
生殖細胞変異原性	: データなし
発がん性	: ヒト疫学知見及び動物試験結果より、IARCはグループ2Bに(IARC93(2010))、ACGIHはA3に (ACGIH(7th,2011))分類している。よって、本項は区分2とした。 【カーボンブラック】
生殖毒性	: データなし
特定標的臓器毒性－単回暴露	: 上気道刺激性があるとの記載より区分3(気道刺激性)に分類した。呼吸器への刺激の恐れ。 【酸化アルミニウム】
特定標的臓器毒性－反復暴露	: 職業暴露により、肺に線維症が認められたとの報告がある。区分1に分類した。 【酸化アルミニウム】【カーボンブラック】
吸引性呼吸器有害性	: データなし

12 環境影響情報	
生態毒性	: データなし
残留性・分解性	: データなし
生体蓄積性	: データなし
土壌中の蓄積性	: データなし
水生環境有害性(急性)	: データ不足のため分類できない。
水生環境長期間有害性	: データ不足のため分類できない。
オゾン層への有害性	: データなし

13 廃棄上の注意	
残余廃棄物の廃棄方法	: 廃棄に於いては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。

都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合は、そこに委託して処理する。

汚染容器・包装の廃棄方法

：『ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず』に分類され、廃棄物として処理する。

14輸送上の注意

国内規制

陸上輸送

： 規制なし

海上輸送

： 規制なし

航空輸送

： 規制なし

国際規制

国連番号

： 非該当

品名(国連輸送名)

： 非該当

国連分類

： 非該当

海洋汚染物質

： 非該当

15適用法令

【労働安全衛生法】

： 安衛法：名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物
政令第18条の2別表第9の130

【カーボンブラック】

【化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律】

(2011.04.01改正化審法第2条)

： 既存化学物質
1-23

【酸化アルミニウム】

【化学物質管理促進法(PRTR法)】

： 対象外

【毒物及び劇物取締法】

： 対象外

【消防法】

： 非該当

【輸出貿易管理令】

別表第一貨物

輸出令項番

： 非該当

貨物等省令項番

： 非該当

第16項

： 該当

： CA規制に該当する可能性がある(輸出令別表第3の地域外への輸出に該当)

別表第二貨物

： 対象外

EU: REACH規則(REACH)

SVHC認可候補物質(CandidateList)

: 弊社PB品質保証課へ別途お問合せください。

制限物質(AnnexXVII)

: 弊社PB品質保証課へ別途お問合せください。

16その他の情報

製造会社名 : 株式会社大和製砥所

参考文献

JISZ7253

NITE(独立行政法人製品評価技術基盤機構)ホームページ

中央労働災害防止協会ホームページ

その他の文献…原材料／製品メーカーSDS

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データにもとづいて作成しておりますが、含有量、物理化学的性質、危険有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。この情報は新しい情報を入手した場合、追加又は改訂されることがあります。又、注意事項は通常の取扱いを対象にしたものですので、特別な取扱いをする場合には、用途、用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。